

令和6年6月24日
教育委員会報告資料 No. 4

教育指導担当

次期港区G I G Aスクール構想で使用する端末について

報告内容

令和7年10月からの次期港区G I G Aスクール構想で使用する端末として、引き続き i Pad を配備します。

1 経緯

港区では、G I G Aスクール構想の実現に向け、令和2年10月に全ての児童・生徒に対し約17,000台のi Padを配備しました。令和5年11月に国は「国策であるG I G Aスクール構想の第2期を見据え、予備機を含む1人1台端末の計画的な更新を行う」と発表しました。港区においても令和7年9月に現行のi Padの賃貸借期限を迎えることから、次期G I G Aスクール構想において学校現場にとって最適な次期端末を選定する必要があります。

2 配備する端末の選定について

国から示された端末は、Microsoft Windows端末、Google Chromebook、i Padの3つの端末です。

アンケート及び各校ICT担当の研修会における3つの端末に対する教員の意見や教育情報参事官を始めとしたG I G Aスクールタスクフォースによる検討の結果、現行端末であるi Padが他の端末よりも直感的で児童・生徒にとって使いやすく、引き続き使用することが望ましいとなりました。

このことを踏まえて、令和6年6月14日に、区立学校等の適切かつ効果的な教育情報化の推進に関する検討を行う学校情報化推進会議を開催し、次期端末を審議した結果、港区では引き続きi Padを使用する方針に決定しました。

次期i Padについては、これまでよりも利便性を高めるため、校庭や屋上等どのような場所でも高速通信が可能なLTE端末の導入をすることを検討します。

3 今後のスケジュール（予定）

令和6年6月 教育委員会報告

7月 区民文教常任委員会報告

令和7年度の端末調達に向けての予算要求

令和7年4月 契約手続き

10月 次期i Padの使用開始